



## Principal Correspondence

### リリーベール公式声明

サンタクロースは本当にいます。  
サンタクロースが人々の善意の象徴とするなら  
彼はみんなの心のなかに確かにいます。  
今年も1年間、コロナに負けず  
元気に大きくなったあなたには特別に  
クリスマスアッセンブリーの日に会いに来るでしょう。

今年1年の成長と、あなたを見守り、慈しんでくれた人々に感謝し、  
来年はもっと優しく強い子になりますように…。

願いをこめて

2022年12月  
リリーベール小学校

コロナ禍の中、昨年までのクリスマスはオンライン配信となりました。  
今年はインパーソンでの対面で行います。  
今年こそ、子どもたちもサンタクロースに会えるかも？  
クリスマスは、キリスト教徒でなくても、大人にも、子どもにとっても一年のおわりの  
最も楽しい行事です。  
夕暮れの雑踏、街の飾り、光り輝くイルミネーション、歳末助け合いの声…。  
子どもたちはサンタクロースのプレゼントに心躍らせ、大人はあたりまえの幸せに感  
謝し、一年間の無事と成長を祝うとき…。

一年のおわりに リリーベールでは コロナに負けず 創意工夫を重ねて  
「クリスマスアッセンブリー」で至極の時間を提供します。

# Principal Correspondence

## クリスマスは王者のイベント？

**クリスマスがやってきます。**

アメリカでは、多人種多宗教の社会なので、最近「メリークリスマス！」(キリスト教徒だけの祭りなので)がだめで、「ハッピーホリデー！」というそうです。やりすぎだと思います。

こういうリベラルの言葉狩りを PC(ポリティカル・コレクトネス)と言い、特にアメリカはひどいと思います。会議の議長「チアマン(Chairman)」は男のマン「man」が男女差別だと言って「チアパーソン(Chair person)」と言い換えたりします。

クリスマスは、聖人セント・ニコラウスが貧しい人に施しをしたことから、チャリティの精神でプレゼントを贈りあい、年末の年越しが心安らかに出来るようにとの趣旨のもので、全世界で「普遍性」を持つお祭りです。

数々のクリスマスソングは賛美歌でなくとも美しく、人の気持ちをほっこりとさせてくれます。リリーでは「メリークリスマス」と言います。大事なイベントです。



バレンタインデーは、外国では男性が女性に「愛を告白する日」で、日本のように女性が男性にチョコを贈るということはありません。何かチョコレートメーカーに踊らされているかもしれませんがまあ、百歩譲って「愛の告白のチャンス」という意義はあるでしょう。

一番わけがわからないのがハロウィンです。ヨーロッパの北に住むケルト人が10月31日を大晦日と定めていて霊が家に帰ってくるのを迎える行事(つまりお盆)ですが、そのとき悪霊もついてきてしまうので、人間が悪霊より怖い姿に変装して追い返すというものです。

ローカルな土着の宗教行事が、世界宗教のキリスト教に飲み込まれた例ですが、盛んなのはアメリカと日本だけで、英国などでは「何それ？」という感じ？何かただの大騒ぎで「普遍性」を感じられない気がするのですが、子どもたちは楽しみにしています。



**いずれにせよリリーでは、これらは宗教とは関係ない楽しいイベントとして考えています。**

